

## I. 令和7年度末事業概況

本年度におけるわが国経済は、政府による賃上げ促進税制の拡充・延長を背景に、企業の賃上げが広がりつつあり、これにより家計の購買力が徐々に回復し、個人消費は持ち直しの動きを示し、全体としては緩やかな回復基調を維持する中で、資源・穀物価格の高止まりや米国による関税措置や中東における地政学上の懸念といった外的要因による下押し圧力が続いている。

J Aグループでは米流通の円滑化や持続的に再生産可能な適正価格の維持など喫緊の課題に取り組む一方で、改正食料・農業・農村基本法の理念に立脚した基本計画を念頭に、「食料・農業・地域政策の推進に向けた政策提案」をするなど、農業生産基盤の維持・確保に向けた中期的な課題に取り組んでいる。

観光産業においては、物価上昇や家計負担の増加により国内旅行の回復は緩やかであるものの、円安の影響等に伴う訪日外国人旅行者の増加等もあり、宿泊業をはじめとした関連産業の業績が回復している。

このような中、本会は、「交流で成功地域を創り出した実績豊富な団体」となるための中長期経営計画3rdステージの初年度として、継続（公益）事業の確実な実施と収益事業の収支確立に向けた事業を展開した。

## II. 事業項目別実施概況

### 第1. 事業実施事項および内容

#### 〔継続事業＝公益目的事業〕

公益目的支出計画を踏まえた継続事業として、都市農村交流事業（体験交流事業、地域交流支援事業）・教育研修事業および広報・調査研究事業は、公益を目的として農山漁村地域の活性化に寄与するため、次の事業を実施した。

#### 1. 都市農村交流事業（継続1）

##### 〔1-1 体験交流事業〕

体験交流事業では、農家支援（作業）・交流により本物の食と農を理解する「援農ボランティア」、伝統的な食文化・安全安心な農産物について学ぶ「食育探訪」、自然・農林漁業体験、民俗芸能などの地

域の伝統文化に触れて興味関心を高める「田舎暮らし体験」など、様々な交流企画を通じ、交流・関係人口増加による地域活性化に努めている。

本年は、「ふるさと倶楽部」の活性化と受入先の満足度向上に向け、4ブランド毎に顧客体験価値（CX）の考え方を取り入れた新たな企画を実施した。

### （1）援農ボランティア活動の拡充『快汗！猫の手援農隊』

本企画は、過疎化・高齢化により担い手不足が深刻な日本の農山漁村を応援するため、「農作業の支援」をしていただくボランティアを募り、作物や土に触れ、農家との交流を通じて、食と農の理解を深めることを目的としている。

本年は、参加しやすい日帰り企画およびリピーター向けの宿泊企画等により全国で受入地域数20箇所（22企画）、ボランティア総数250名（前年18箇所236名）の実績となった。

また、この他に、企画（ツアー）に依らないマッチングを行い、5地域43名（前年4地域33名）の援農ボランティアを実施した。

#### ■ 全国20箇所 企画数22 [参加者総数250名]

No.	企画名称	実施日程	受入地域	人数
1	秦野いちご片付け援農隊	5/24(土)	神奈川県秦野市	33
2	秋間梅林 梅もぎ援農隊	5/31(土)	群馬県安中市	16
3	大北りんご援農隊	6/2(月)～ 6/4(水)	長野県大町市	8
4	カーネーション片付け隊	6/7(土)	神奈川県秦野市	16
5	小布施ぶどう援農隊	6/29(日)～ 7/1(火)	長野県小布施町	16
6	みかん摘果隊	8/9(土)	神奈川県大井町	10
7	山ぶどう収穫選別援農隊	9/12(金)～ 9/14(日)	山梨県早川町	7

No.	企画名称	実施日程	受入地域	人数
8	さるなし収穫援農隊	9/15(月)～ 9/17(水)	長野県小谷村	12
9	えな栗援農隊	9/21(日)～ 9/23(火)	岐阜県恵那市	10
10	大北りんご葉摘み援農隊	10/2(木)～ 10/3(金)	長野県大町市	5
11	保平かぶ援農隊	10/30(木)～ 11/1(土)	長野県松本市	5
12	青森りんご収穫援農隊	11/9(日)～ 11/11(火)	青森県板柳町	18
13	ころ柿援農隊	11/13(木)～ 11/15(土)	宮城県丸森町	6
14	北志賀高原高社山で育った りんご収穫隊	11/20(木)～ 11/22(土)	長野県山ノ内町	10
15	ゆず収穫援農隊	11/22(土)～ 11/24(月)	福島県矢祭町	9
16	チューリップ&玉ねぎ根付け 隊	11/22(土)	東京都羽村市	12
17	鴨川みかん援農隊	12/6(土)	千葉県鴨川市	16
18	秋間梅林援農隊	12/12(金)	群馬県安中市	9
19	邑美人援農隊	1/17(土)	群馬県館林市	10
20	雪中キャベツ収穫隊	1/25(日)～ 1/27(火)	長野県小谷村	11
21	壱岐、牡蠣の殻洗いのお手伝 いと壱岐の漁業を知ろう！	2/25(水)～ 2/28(土)	長崎県壱岐市	5
22	桑の葉剪定援農隊	3/7(土)～ 3/8(日)	山梨県甲斐市	6

## (2) 食育交流企画の実施『田舎でいいね！食育探訪』

本企画は、農山漁村に古くから伝わる伝統的な食文化や農産物を体感し、味わい、子どもから大人までの幅広い世代に対する「食と農」の理解促進を目的としている。

本年は、全国18箇所、25企画、参加者総数552名（前年9箇所321名）の実績となった。

### ■ 全国18箇所 企画数25 [参加者総数552名]

No.	企画名称	実施日程	受入地域	人数
1	畑会で季節の野菜収穫 ～ピザづくり体験～	4/27(日)	東京都八王子市	17
2	幻のそら豆「河内一寸そら豆」 と芳醇ミニトマト収穫体験	5/6(火)	大阪府羽曳野市	24
3	東京のワイナリーヴィンヤード多摩でワインを知ろう！	5/24(土)	東京都あきる野市	5
4	田んぼへいこう！ 三嶽農園で田植え体験	5/31(土)	神奈川県秦野市	9
5	備前黒皮かぼちゃ&フレーバーオイル作り体験	7/22(火)	岡山県瀬戸内市	19
6	お魚探検とおうちで育てよう！豆苗づくり体験	8/2(土) 8/23(土)	大阪府大阪市	32
7	お魚先生と行く！『伊勢志摩お魚図鑑』でおさかなの旅ミニ体験	8/8(金) 8/22(金)	奈良県橿原市	54
8	八代オクラと但馬在来種 進 美なす&たじまピーマン収穫 体験	9/7(日)	兵庫県豊岡市	22
9	魚の目利き体験&夏の伝統野菜と魚を活かす醤油	9/13(土)	大阪府大阪市	24
10	田んぼへいこう！稲刈り体験	9/20(土)	神奈川県秦野市	10

No.	企画名称	実施日程	受入地域	人数
11	秋の食と農のこよみ教室& お月見だんごづくり体験	9/20(土) 9/21(日)	大阪府大阪市	15
12	都市と農を「つなぐ」五感で学 ぶ親子農育ツアー	9/27(土)	神奈川県秦野市	12
13	秋の月ヶ瀬で手揉み和紅茶作 り体験とさつまいも収穫体験	10/4(土)	奈良県奈良市	8
14	辻調理師専門学校校外学習	10/20(月) 10/21(火)	和歌山県紀の川市	144
15	親子で楽しむ畑で農に触れる ツアー	10/25(土)	神奈川県秦野市	19
16	農業女子つなぐプロジェクト クリマサリ掘り&リース作り	10/25(土)	神奈川県平塚市	20
17	完熟黒枝豆朝来大黒&菌ちゃ ん農法で作られた紅だいこん 収穫体験	11/1(土)	兵庫県朝来市	13
18	秋の『伊勢志摩お魚図鑑』企画	11/7(金)	奈良県桜井市・ 天理市	13
19	秋の穂谷で里山探検&さつま いも掘りとコスモス摘み体験	11/8(土)	大阪府枚方市	15
20	練馬大根引っこ抜き～江戸東 京野菜収穫～	12/14(日)	東京都練馬区	4
21	大阪菜発見！ なにわの伝統 野菜ゆかりの地をぶらり	1/16(金)	大阪府大阪市	12
22	冬の魚の目利き体験&食材を 活かす“醤油”とお豆のお話♪	1/24(土)	大阪府大阪市	12
23	親子で楽しむ畑で農に触れる ツアー	2/7(土)	神奈川県秦野市	19
24	大豆と発酵を学ぶ趣味噌づく り&キャラ太巻きづくり体験	2/21(土)	東京都豊島区	10

No.	企画名称	実施日程	受入地域	人数
25	ミニフライパン作りと八尾若ごぼう収穫体験	2/27(金)	大阪府八尾市	20

### (3) 移住・就農喚起に向けた交流企画実施『田舎暮らし体験』

本企画は、農業漁業にまつわる様々な伝統文化や地域行事のある美しい日本の農山漁村を訪れ、そこに暮らす人々との交流を通じて、田舎暮らしへの興味・愛着を持ち、移住・就農のきっかけづくりを提案することを目的としている。

本年は、4箇所では4企画、参加者総数38名（前年4箇所53名）の実績となった。

#### ■ 全国4箇所 企画数4 [参加者総数38名]

No.	企画名称	実施日程	受入地域	人数
1	すさみ町田舎暮らし	4/24(木)～ 4/26(土)	和歌山県すさみ町	10
2	奈川の田舎暮らし	5/24(土)～ 5/25(日)	長野県松本市	8
3	小谷村田舎暮らし	6/7(土)～ 6/9(月)	長野県小谷村	9
4	牡丹と雲州人参の一大産地「大根島」	10/27(月)～ 10/28(火)	島根県松江市	11

### (4) 農業・農村ファン創り企画の実施『ふるさと体験交流』

都市生活者の農業・農村に対する理解や関心を高めるため、手軽に農村での交流ができる「体験型交流企画」を実施し、大人から子どもまで対象を広げ、農業・農村のファン創りを目指している。

さらに次のステップとして援農ボランティアや食育交流企画・田舎暮らし体験企画への参加を促すために「ふるさと体験交流」を実施した結果、本年は、全国42箇所では46企画、参加者総数1,205名（前年43箇所1,357名）の実績となった。

■ 全国42箇所 企画数46 [参加者総数1,205名]

No.	企画名称	実施日程	受入地域	人数
1	神奈川の逸品！湘南ゴールド狩りと足柄茶製造工場見学	4/3(木)	神奈川県小田原市・山北町	21
2	まりひめいちご狩り&桃ジャム作り体験	4/4(金)	和歌山県紀の川市	24
3	いちご王国栃木で完熟いちご狩りとアスパラガス収穫	4/5(土)	栃木県宇都宮市	31
4	新緑の中で山菜摘み体験	4/19(土)	滋賀県余呉町	16
5	旬の野菜&下中玉ねぎ収穫と農村ウォーキング	4/19(土)	神奈川県小田原市	17
6	春の味覚！あすかるびーとたけのこ収穫	4/20(日)	奈良県明日香村	44
7	大多喜たけのこ掘りと君津いちご狩りで春を大満喫！	4/20(日)	千葉県大多喜町	37
8	月ヶ瀬で新茶のお茶摘み体験とこんにゃく作り体験	5/17(土)	奈良県奈良市	17
9	淡路特産！カーネーションと玉ねぎ収穫体験	5/17(土) 5/18(日)	兵庫県淡路島	63
10	但馬ブランド・朝倉さんしょ収穫&朝来茶の新茶摘み体験	5/23(金)	兵庫県養父市・朝来市	20
11	鳥取県特産！砂丘らっきょう収穫&らっきょう漬け体験	5/24(土)	鳥取県鳥取市	16
12	今が旬！完熟露地びわ狩り	6/5(木)	千葉県南房総市	34
13	さくらんぼ狩りと桑の実摘み in 甲斐市	6/8(日)	山梨県甲斐市	24
14	南高梅収穫&南高梅ジュース作り体験	6/19(木)	和歌山県田辺市	23
15	淡路島で「完熟びわ狩り」と「じゃがいも」収穫体験	6/19(木)	兵庫県淡路島	30

No.	企画名称	実施日程	受入地域	人数
16	みずみずしい下妻のスイカとメロン収穫体験	6/21(土)	茨城県下妻市	43
17	紀の川の桃&夏野菜収穫体験	6/28(土)	和歌山県紀の川市	40
18	J A兵庫みらいアスパラガスとトウモロコシ収穫体験	7/5(土)	兵庫県加西市	44
19	交野神宮寺ぶどう収穫体験	7/17(木)	大阪府交野市	20
20	フレッシュホップ摘み取りと万願寺とうがらし収穫体験！	7/26(土)	京都府与謝野町	18
21	美味しい関城の梨狩りと大きな巨峰狩り in やさと	8/29(金)	茨城県筑西市	18
22	鳥取県ブランド！二十世紀梨とブルーベリー収穫体験	8/30(土)	鳥取県鳥取市	40
23	いちじく収穫&飛鳥ワインでぶどう畑とワイナリー見学	9/14(日)	大阪府羽曳野市	20
24	秋の味覚！ 丹波くりひろい体験	9/28(日) 10/5(日)	京都府京丹波町・美山町	39
25	落花生&きのこ収穫とおまめの里でおはぎづくり体験	10/11(土)	京都府京都市	20
26	秋を感じる 笠間の栗拾い	10/15(水)	茨城県笠間市	20
27	和歌山ブランド！紀の川柿&みかん収穫体験	10/18(土)	和歌山県紀の川市	57
28	秋のみのり！黒大豆枝豆収穫	10/25(土)	兵庫県西脇市	20
29	刀根早生柿発祥の地で柿の収穫&あじまるみ大根収穫体験	11/3(月)	奈良県天理市	23
30	徳島県松茂・鳴門収穫体験満喫ツアー	11/8(土)	徳島県松茂町・鳴門市	47

No.	企画名称	実施日程	受入地域	人数
31	J A うつのみやにっこり梨とみやどんこ収穫	11/8(土)	栃木県宇都宮市	31
32	キウイ&レモン収穫体験	11/9(日)	和歌山県紀の川市	16
33	秩父の魅力いっぱい秩父黄金のかぼす	11/15(土)	埼玉県秩父市	6
34	金剛葛城山麓ガストロノミーツーリズム	11/22(土)	奈良県御所市	18
35	横仙歌舞伎秋の大公演会鑑賞と旬の野菜収穫体験	11/23(日)	岡山県奈義町	19
36	花御所柿(はなごしょがき)収穫体験	11/29(土)	鳥取県八頭町	18
37	J A 鳥取中央特産!ねばりっこ収穫体験	12/6(土)	鳥取県北栄町倉吉市	17
38	たじまブランド!岩津ねぎ収穫体験	12/13(土) 1/17(土)	兵庫県朝来市	47
39	下仁田名産こんにゃくづくりと下仁田ねぎ収穫	12/13(土)	群馬県下仁田町	19
40	大阪はびきのへ「紫の宝石を探しに行こう!」～冬編～	1/10(土)	大阪府羽曳野市	11
41	秦野いちご&湘南ゴールド	1/17(土)	神奈川県秦野市	19
42	泉州キャベツ&超極早生玉ねぎ収穫体験!	1/23(金)	大阪府貝塚市岸和田市	17
43	いちご&とまと収穫体験	2/8(日)	兵庫県加東市・三田市	33
44	播州赤穂で塩の手作り体験&旬の牡蠣焼きを満喫!!	2/20(金)	兵庫県赤穂市	16
45	農家のリアルを学ぶ 川越・飯野農園スタディツアー	3/14(土)	埼玉県川越市	15

No.	企画名称	実施日程	受入地域	人数
46	プレミアムいちご県埼玉いちご食べ比べ	3/28(土)	埼玉県吉見町	17

## (5) ふるさと倶楽部会員およびファンの拡大

体験交流事業の理解促進に向け、SNSを旅マエ・旅アト情報の発信ツールとして活用した。LINEは旅マエの宣伝媒体として活用し、FacebookおよびInstagramは、実施後の旅アトの情報を配信した。

また、「ファーマーズ&キッズフェスタ2026」に出展し、新規会員獲得に向けた広報活動を実施した。

これらの結果、ふるさと倶楽部会員は3,649名(前年度末比331名増)、Facebook登録者数949名(前年度末比6名増)、LINE登録者数774名(前年度末比90名増)、Instagramフォロワー数1,363名(前年度末比683名増)となった。

## [1-2 地域交流支援事業]

農山漁村地域の所得向上および地域の活性化を実現するため、株式会社農協観光(以下、農協観光)ならびに一般社団法人日本ファームステイ協会(JPCSA)等と連携して、地域協議会や自治体等に寄り添いながら支援地域の体制整備・強化をサポートした。

### (1) 地域づくり推進の展開

中長期経営計画の目標である成功地域の創出を早期に実現させるため、全国各地における課題やニーズに現場で向き合い、課題解決および持続可能な地域づくりを目指して各種支援を実践した。支援にあたっては、地域性に応じ特定の地域協議会や施設等からの業務委託等を通じた「集中型支援」、または複数の農泊地域や自治体等への「分散型支援」を実施した。本年は全て分散型支援であった。

※集中型支援：地域の課題に対し、網羅的に支援を行う。

※分散型支援：地域の課題に対し、部分的な支援を行う。

#### ① 東京都

昨年度に続き、公益財団法人東京都農林水産振興財団が実施する「東京都担い手確保育成及び女性就農支援事業」において、「東京で

の就農を本気で考える！東京就農ツアー」を受託し、就農を希望する都市住民等を対象に、東京農業アカデミー八王子農場や新規就農者、農業法人を訪問するツアーを5回実施し、計48名が参加した。

#### ② 埼玉県小川町

地域商社からガストロノミーツアー造成に関わるアドバイザー業務を受託し、定例会や研修会への参加、現地視察への同行等を通じて、コンテンツのブラッシュアップに向けたアドバイスを実施した。

#### ③ 青森県南部町

NPO法人が実施する農泊経営の強化に向けた事業に、農泊運営の高度化・インバウンド対応強化および北東北エリアの農泊地域の有機的な連携のための専門家として参画し、農泊運営研修6回を開催するとともに、広域連携の促進や国内外の営業活動を支援した。

#### ④ 和歌山県紀美野町

昨年度に続き、和歌山県紀美野町の小川地域棚田振興協議会を実施主体とする中山間地農業ルネサンス事業実施のアドバイザーとして会議に参画(全4回)した。併せて先進地域から講師を招聘し、有機農業での農業振興の勉強会を主催した。

#### ⑤ 千葉県御宿町

御宿町農泊推進協議会から委託を受け、地域資源調査及びニーズ把握、ワークショップやリスクマネジメント研修等を通して10の体験型ツアーコンテンツの組成、地域食材等を活用した6次化商材開発(全3回)の業務を実施した。

#### ⑥ 和歌山県那智勝浦町

太田川流域農泊振興協議会における農業体験の受入・販売体制の強化を目的に、現状課題の整理、先進地視察、体験プログラム造成・検証を実施し、課題に対し、持続可能な運営と収益改善の方向性を示した。

### (2) 農泊地域の受入高度化と効果的な推進に向けた取り組み

農林水産省が推進する「農泊」の取り組みを加速すべく、関東農政局『農山漁村振興交付金「農泊推進プロモーション事業」』、及び

東北農政局『農山漁村振興交付金「農泊推進プロモーション事業」』、に応募し、採択を受けた。

関東では、インバウンド誘客に取り組み、9農泊地域に対し、誘客パンフレットの制作、旅行会社に向けた情報発信資料の制作等の伴走型支援を実施した。

東北では、国内旅行会社とのマッチング商談会を開催するとともに、台湾で開催された商談会・展示会「日本東北遊楽日2025」へ出展し、インバウンド誘客に意欲的な団体に対する誘客支援を行った。

また、上記2事業を通じて得られた知見を事例集として取りまとめ、農泊地域や各県農泊担当者と共有した。

### (3) 農泊地域の経営高度化による自立・自走に向けた取り組み支援

農林水産省が推進する「農泊」を持続的な取り組みにすべく、『農山漁村振興交付金（全国事業）「農泊地域の経営高度化に向けた研修事業」』を活用し、農泊地域の収益性改善に向けて、経営力の強化に資するセミナーを全13回実施した。

本事業では、農泊の推進における経営に必要なスキルの習得を目的とした研修プログラムを設計し、農泊地域の人材確保、生産性向上による経営体質強化、ICT技術による運営効率化など、農泊事業における課題解決のための支援を実施した。

### (4) 都市農業の多様な役割や意義の啓発

農林水産省の『農山漁村振興交付金「都市農業機能発揮支援事業」』を活用し、都市住民に対してInstagramでの情報発信、ワークショップやツアーによる体験を通じて、都市農業への関心を高める取り組みを行い、ワークショップやツアー参加者は延べ504名となった。

## 2. 教育研修事業（継続2）

農山漁村をはじめとする地域における観光の振興と促進を行い、国民が豊かな生活を送ることができる地域社会の創造に寄与することを目的とし、旅行業に係る各種研修会を地方中心に開催した。

## (1) 観光振興のための資格取得研修の実施

### ① 旅程管理研修

企画旅行の確実な実施に義務づけられた旅程管理主任者の資格を取得するために各地域登録旅行業者従業員等を対象に、旅行業法に基づく登録研修機関として、「旅程管理研修」(法定研修)を集合研修会とオンライン研修会を併用して、全国主要都市および地方都市において開催した。

#### 「旅程管理研修」(法定研修)の開催結果

研修名	開催会場数	開催都市	受講者数
総合旅程管理研修	22 (前年 23)	盛岡・仙台・福島・東京・新潟(2回)・名古屋・富山・大阪・岡山・徳島・高松・福岡(2回)・鹿児島・オンライン(7回)	141 (前年 147)
国内旅程管理研修	29 (前年 37)	盛岡・仙台・東京(2回)・長野・新潟(2回)・名古屋(2回)・富山(2回)・福井・大阪(2回)・岡山・徳島・高松・高知・福岡(2回)・鹿児島(2回)・オンライン(7回)	277 (前年 328)

### ② 旅行業務取扱管理者国家試験対策講座

旅行業者従業員や旅行業界をめざす者を対象に、国家資格である旅行業務取扱管理者の資格取得促進を目的としている「旅行業務取扱管理者(総合・国内)国家試験対策講座」を集合研修会とオンライン研修会を併用して開催した。

#### 「国内旅行業務取扱管理者国家試験対策講座」の開催結果

講座名	開催会場数	開催都市	受講者数
総合旅行業務取扱管理者国家試験対策講座	1 (前年 0)	オンライン	13
国内旅行業務取扱管理者国家試験対策講座	3 (前年 4)	東京・オンライン(2回)	17 (前年 48)

### 3. 広報・調査研究事業（継続3）

広報事業は、SNSを含めた多様なメディアを効果的に活用した広報・プロモーション活動に取り組んだ。

調査研究事業は、地域交流支援事業と関連付けた調査・研究ならびに本会事業の試行と実証実験を実施した。また、有用な地域資源のひとつである民俗芸能の活用実践の場づくりや、本会各事業との産学連携も視野に入れたイベントを継続して開催した。

#### （1）民俗文化資源の保存・活用・普及支援・調査の実施

農山漁村地域の民俗文化資源の保存・活用支援に向け、地域の人々の暮らしと郷土芸能のつながりを都市住民とともに考えることを目的として、山梨県甲州市の「一之瀬高橋の春駒」を招聘し、『第36回民俗芸能と農村生活を考える会』を令和8年1月31日（土）に千代田区の日本教育会館一ツ橋ホールで開催し、249名が参加した。

#### （2）地域づくりに役立つ広報・プロモーション方策の試行・確立

地域で活躍している学生等の取り組みを紹介することで地域活性化の一助となるよう『第6回学生地域づくり・交流大賞』を令和8年3月13日（金）、東京都千代田区のJAビル農村ギャラリーにおいて、最終審査会を開催し、参加団体に各賞を授与した。

また、プレスリリース用配信ツールの活用検証を継続的に行い、プロモーションの有効性を確認した。

#### 【第6回学生地域づくり・交流大賞結果】

■大賞：宮城学院女子大学 現代ビジネス学部石原ゼミナール

■優秀賞：高知県立大学 おおとよ探検隊

#### 【実証実験の結果概要】

活用ツール：PR TIMES（ピーアールタイムズ）

実験期間：令和7年6月18日～令和8年2月18日（4回配信）

対象事業	アクセス数	記事（Web）掲載
親子食育ツアー	682回	37社
住宅宿泊管理業登録実務講習①	263回	21社
考える会（一之瀬高橋の春駒）	474回	27社

対象事業	アクセス数	記事（Web）掲載
住宅宿泊管理業登録実務講習②	385回	26社
計（延べ）	1,804回	111社

### （３） 本会事業の周知を促進するためのWEB・SNS等活用の実施

本会ホームページの利活用の促進と、部署ごとに選任された広報担当者による、時代や本会事業に即したWEBやSNS等の活用に取り組んだ。

また、本会の事業理解と認知度向上を目的として、ホームページのリニューアルに向けた企画・設計・制作等の準備を進めた。

### （４） 農山漁村地域の活性化に向けた調査研究の実施

本会地域交流支援事業と関連付けた古民家を活用した地域づくりや移住定住を見据えた労働力確保による地域活性化に向けた方策の調査・研究を行った。

## 〔収益事業〕

収益事業は、本会の持続的な運営に必要な財源の確保に資する事業として、日本農業検定事業・農福連携事業、観光人材育成事業に取り組んだ。

## ４． 観光人材育成事業（収益１）

観光立国ならびに地方創生の動きを踏まえ、観光・地域づくりに関する研修・講座を提供し、観光人材の育成に取り組んだ。

### （１） 観光客受入を促進する研修の実施

#### ① 研修・講演

農協観光協定旅館ホテル連盟を介して施設従業員を対象に、観光客の受け入れに必要な基礎知識の習得やおもてなしサービス接客向上等の人材育成研修会を実施した。

開催内容	対象	受講者数	開催場所	実施時期
新入社員研修・顧客接客研修	従業員	39	滋賀県大津市	令和7年4月
新人フォローアップ研修・顧客接客研修・カスハラ研修		40		令和7年12月
計		79		

## ② 住宅宿泊管理業に係る登録実務講習制度

住宅宿泊事業法に基づく登録講習機関として、住宅宿泊管理業登録実務講習を実施した。

講座名	会場数	開催都市	受講者数	修了者
住宅宿泊管理業 登録実務講習	7	東京(5回)・大阪(2回)	305 (前年 684)	295 (前年 670)

## (2) 受入地域の体制整備に係る研修の開発と実施

### ① 静岡県立農林環境専門職大学出講

グリーン・ツーリズム論を学ぶ同大学の学生を対象に、「静岡県外のグリーン・ツーリズムの実践」を主題とした講演を行った。

### ② 青森県構造政策課

農家民宿・民泊の新規開業者に向けた研修会において、事例紹介とO T A等の活用について講演を行った。

### ③ 岩手県への出講

「令和7年度いわてグリーン・ツーリズムスタディ」において、訪日外国人の誘客に向けた商談会での対応について解説した。

### ④ 山形県農産物販路開拓・輸出推進課

農泊開業支援研修会「農と食でつながる宿づくり応援セミナー」において、農家民宿の事例を紹介し、開業に向けた手続きと注意点について講演を行った。

### ⑤ 青森県事業の運営支援

農協観光が受託した「学校給食を活用した県産食材P R・啓発資材制作等業務」の事業運営を支援した。

### ⑥ 岩手県事業の運営支援

農協観光が受託した「農山漁村体験受入体制強化に係る広域連携による教育旅行等受入体制の整備支援業務」の事業運営を支援した。

### ⑦ 北海道庁への出講

道庁が主催する「デジタルセミナー」の企画段階から参画し、デジタル技術の実務者やA Iの専門家による講演の企画提案と弊会の農泊研修事業の報告を行った。

### ⑧ 北海道の農泊地域への出講

農泊を「地域経営」手法として、持続可能な事業とする方向性を

示し、人口急減など様々な制約がある中でも、関係人口の創出や域内経済循環の強化を通じて地域が自立できる仕組みの構築を伝えた。

⑨ 神奈川県里地里山保全団体に向けた講師出講

里地里山の保全活動に都市住民が参加するためのノウハウの蓄積を目的に、全国の都市農村交流の優良事例を紹介した。

⑩ 御殿場市農家民宿推進協議会への出講

インバウンド受入を行う農家民宿を運営する協議会会員に対し、宿泊客受入れ時におけるリスク管理をテーマに研修会を実施した。

⑪ 援農ボランティア受入れ地域に向けた講師出講

農協観光が受託した和歌山県「令和7年度都市住民ボランティア援農体制モデル事業」の一部業務を引き受け、農作業体験における安全管理研修に出講した。

⑫ (一社) 日本ファームステイ協会との連携

(一社) 日本ファームステイ協会事務局として、社員総会、理事会・評議会、賛助会員報告会を開催した。

また、同協会が実施するアルベルゴディフーズ認証支援事業において、宮城県蔵王町、長崎県平戸市、宮城県村田町において認証支援を行った。

また、長崎県平戸市において、地域活性化起業人として、アルベルゴディフーズタウン事業の推進、観光マーケティング戦略、観光DXなどの推進を支援した。

(3) 海外コンサル業務への参画

本邦内の農山漁村の活性化の一助とすべく、海外の観光・農業関連事業に参画した。

① セネガル

JICA技術協力プロジェクト『セネガル川流域コメバリューチェーン強化プロジェクト』に受託会社の補強要員として参画し、海外における各種情報収集やプロジェクトマネジメントを含む支援ノウハウの習得と国内事業への活用に努め、農業普及におけるタブレット活用による業務効率化に取り組んだ。

担 当	I C T利活用
期 間	令和7年7月～令和8年2月（国外：28日間、国内：8日間）
主な業務	①タブレット導入による農業統計調査の効率化試験 ②タブレットを活用した農業技術普及の体制整備 ③普及員に対するオンライン研修素材の作成 ④普及員の業務実施体制の整備支援

## ② ブルネイ

在日ブルネイ大使館からの要請を受け、ブルネイでのコミュニティビジネスとしての観光推進を目的に、日本における農泊推進の取り組みを紹介するとともに、現地での受入改善コンサルティングに取り組んだ。

期 間	令和8年2月（国外：6日間）
主な業務	①農泊紹介セミナーの開催 ②体験プログラム造成ワークショップの開催 ③体験型観光事業者への個別コンサルティング ④現地関連省庁との面談、意見交換

## 5. 農福連携事業（収益2）

農福連携事業に取り組む事業体に対し、持続可能な農福連携の観点に立った農業経営の設計支援、収益性の確保に向けた助言など、農福連携を継続的かつ事業として自立的に実施するための専門家派遣等の人的支援や、スタートアップ相談を含む知見の提供を行った。

また、公益財団法人日本フィランソロピー協会と株式会社農協観光が実施する「農福連携による共生社会創造事業」における農福連携に取り組む事業者へ事業推進の伴走支援ならびに2025年度農福推進リーダー養成研修を実施した。

### 【支援実績】

地域	支援先	支援内容
奈良県奈良市	特定非営利活動法人 エムワイピー農場	観光農園開設に向けたPRイベント及び農福連携等プラス推進モデル事業の運営支援（5回実施）
奈良県奈良市	株式会社垣内商会	農福連携における農地活用や福祉事業所等との連携支援（2回実施）

地域	支援先	支援内容
岡山県岡山市	株式会社おおもり農園	多様な支援者との連携や継続的なネットワーク運営のための支援
群馬県前橋市	社会福祉法人 ゆずりは会	共同出荷場等を整備するための交付金活用指導（2回実施）
千葉県流山市	千葉県生涯大学校 東葛飾学園	農福連携を高齢者の地域支援活動・ボランティアの選択肢に広げる指導（2回講演）
広島県広島市	株式会社コスモケア・エナジー	商品開発研修会および地域づくり先進地視察の実施（8回実施）

## 6. 日本農業検定事業（収益3）

検定実施13年目を迎えた日本農業検定事業は、小学生から一般の方々を対象に農業の基礎的な知識の習得を図るとともに、JAグループにおいては、職員研修や基礎知識の習得を目的に拡充に努めた。

### （1）農業への理解促進と関心を高めるための農業検定の拡充

日本農業検定受検者拡大に向けて、訪問推進に加え、JAグループにおいては、JAならびに都道府県中央会やJA関連企業、学校関係では、校長会や教育関係の研究会・学会を含む小学校・中学校・高校・大学、その他では、農業関連団体・市民生協・農福連携関連団体等へ郵送等による資料の配布を行った結果、1,795名（前年比70名増）が受検した。

また、農の教養書としてのテキストの認知度向上を図るため、全国の書店におけるテキスト販売を継続した結果、4,190冊（前年比1,690冊減）を販売した。

### （2）農検栽培キット（豆苗）の販売促進

中学校の技術家庭科の補助教材である農検栽培キットは、卸販売事業者からの発注数が12,500個（前年比5,000個減）となった。また、栽培キットを使用した親子対象の「トウミョウ栽培教室」は、恒例となった渋谷区こども科学センターでの開催に加えて、埼玉県富士見市健康増進センター・世田谷区立教育総合センターで6回実施した。

## 第2．経営基盤強化策

本会の経営基盤の充実・強化のために、中長期経営計画に沿って、職員の人財育成・教育研修に関する施策を行うとともに、財務の安定性確保を図るための資産運用を実施した。

### (1) 人財育成のための取り組み

次期管理職育成ならびにマネジメント力の強化等を視野に入れ、階層別研修の充実を図った。新入職員に向けては「新入職員研修・フォローアップ研修」、若手職員に向けては「ビジネスコミュニケーション研修」を実施した。また、新人事諸制度の理解と定着を目的として、顧問社労士の協力を得て管理職を対象とした「評価者研修会」を6回開催し、公正かつ適切な人事評価の実施に向けた意識の醸成を図った。加えて、全職員を対象に「育児・介護休業等に関するWEB研修」、「職場におけるハラスメントに関するWEB研修」を行い、多様な働き方への理解促進と職場環境の整備に取り組んだ。

また、職員が部署横断的メンバーで構成する「プロジェクト」については、農林水産省が進める「農業女子プロジェクト」と連携した「農業女子 つ・な・ぐ プロジェクト」では、職業としての農業への理解促進と女性農業者の取り組みの発信を目的に、小中学生および保護者を対象とした「職業体験EXPO2025」へ出展し、その活動を通じて職員の自主性・主体性の醸成を促す実践的な人財育成を取り進めた。

### (2) 事業実施体制の強化

事業実施体制の強化に向け、新入職員1名、キャリア採用1名および臨時職員2名を採用し、農協観光から新たに3名の出向者を受け入れた。

また、職場環境整備の一環として、事務所内のネットワーク環境の改善を行うとともに、貸与パソコン及び業務用携帯、事務機の入替を行い、セキュリティの強化及び快適な業務環境の実現を図った。

### (3) 資産運用の充実

有価証券による資産運用については、125,776千円の利金収入を計上した。

また、流動性・安全性・収益性のバランスに配慮したポートフォリオの構築を目的として、30年国債（額面1億円）の買い替えを実施した。

#### （4）情報システム機能の充実

本会ホームページのリニューアルに向けた業者選定を実施し、次年度のリニューアル公開に向けた準備を進めた。

また、既存システムについては運用実態を踏まえたマニュアルの再作成を行い、職員の操作性向上及び業務の標準化・効率化を図った。

さらに、既存システムと連動できる個人番号管理システムを導入し、セキュリティ強化および業務の迅速化に取り組んだほか、生成AIの活用可能性を検証するため、関連セミナーへの参加及び職員アンケートを実施し、業務効率化に資する基盤の整備を行った。

以 上